



計算ができない
人の計算法
2ケタの足
し算

もきち

お詫び申し上げます。

完成でない前の本を出したことはどうもすみません。これからは続編という形で進めます。申し訳ありません。

取り上げますのは、2ケタの足し算です。

2ケタの足し算

繰り上がりがない場合

22+3 12+4など

これは、今までと同じように

```
  | |   | |
    | | |
=====
```

2 5

```
  |   | |
    | | | |
=====
```

1 6

繰り上がりがあるもの

通常、私は「ちょび」と言っていますが、正式になんていうかわかません。「ちょびちょび」と言っていたら、「10でしょ?」と言われました。

つまり、10のくらいに1あげて、全部を足す。

例 18+26

1 8

2 6

1 (ちょび)

===

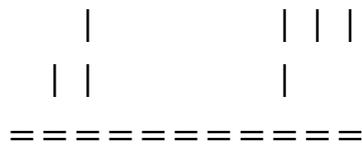
4 4

記号を用いる場合は、次のようにしては。

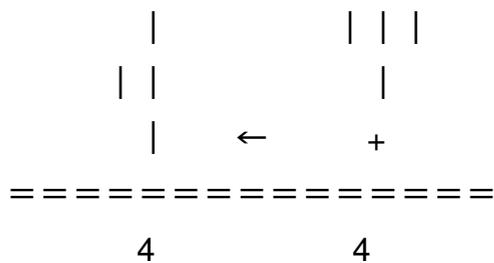
3つほど例を検討してみます。

例

$18+26$

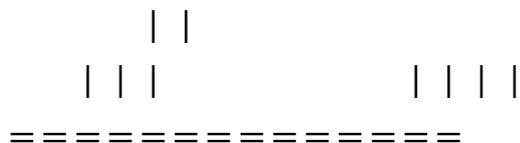


+ = | 左にお引っ越し (この場合は、ちょびと同じです原理は)

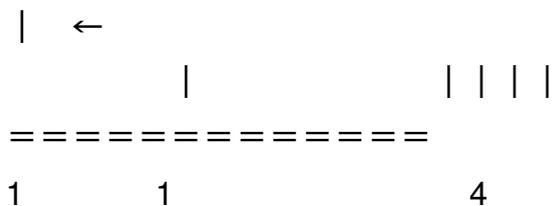
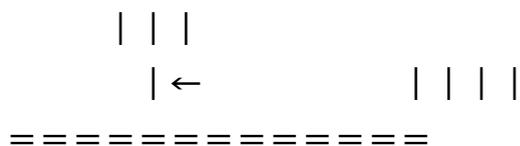


この次あたりから、わかりやすくなるのでは？

$25+89$



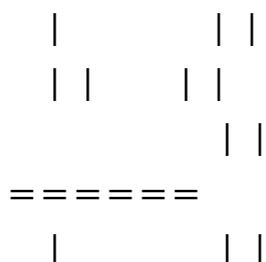
|| ←この5を見て、すぐに にできるといいです。



$25+89=114$

もう少し例をあげて検討してみます。

$12+29$



| | | | ← 5 を見抜いて、おひっこし
 | ← | |
 =====
 4 1

計算の結果が、3桁の結果になる場合でも、結局は「となりにおひっこし」です。そのためにも、縦線を書き入れて、混乱しないほうがいいのではないのでしょうか。例を2つほど出してみます。

77+95

 | | | |
 | |
 | |
 =====
 | | | |
 | ← | |
 | | ← この塊から ひとつ
 | ←
 =====
 | | | | |
 1 7 2

46+98

 | |
 | | |
 | | | | |
 | |
 =====
 | ← |
 | | |
 | ← | | |
 =====
 1 4 4
 46+98=144

ドリルなどありましたら、三問程度試してみてください。
 続巻は、掛け算です。割り算と引き算は、検討中です。